

5) 西口駅前広場の現況【特徴】

・西口駅前広場のデザインの方向性を実現していくため、駅前広場の基本的な役割の視点に沿って、現在の西口駅前広場の特性を整理する。特性を踏まえた上で、「デザインの基本的な考え方」に活かしていく。

駅前広場空間の基本的な役割からみた西口駅前広場の現況分析

1. 交通結節点

- ・雨天時の歩行者環境
駅とバス乗降場とは、シェルターなどで直接つながっていない
- ・バス乗降場の案内
バスの乗降場が、初めての来訪者には分かりにくい
- ・自転車と歩行者の動線の錯綜

2. 駅とまちを結ぶ広場

- ・30m四方の広場スペース（駅前広場南側）
待合せや休憩、イベントなどでの活用可能性
駅と商店街をつなぐ歩行者動線が円形の段差により迂回
- ・駅と商店街の間の車道
安全確保のための段差、舗装による一体感の減少

3. まちの顔・玄関口としての広場

- ・駅前広場と商店街(アーケード)が直結した位置関係
商店街の賑わいや生活感の駅前広場への表出
- ・一体感を形成しやすい駅前広場の大きさ
対面の歩道にいる人の表情が分かるなど、適度な大きさ
- ・駅ビルおよび駅前の商業施設などの看板、広告などによる多様な色彩

4. オープンスペース

- ・待ち合わせやイベントスペースとして活用可能な南側広場スペース
段差による広場スペース全体の一体利用は不可能
- ・高木や花壇などの緑化空間

西口駅前広場の現況分析

駅前広場にはバス乗降場、降車場がなく、周辺道路に分散している



商店街などの店舗により生活感や親しみを感じる賑わいがある



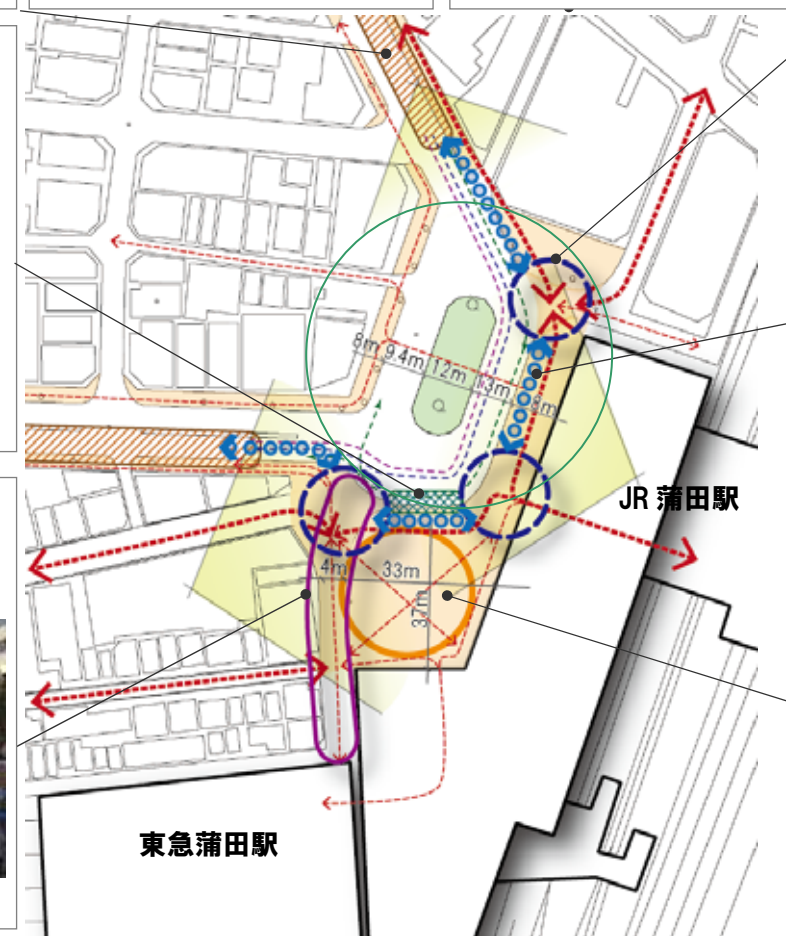
大学や専門学校があるため、駅周辺には学生も多くいる



駅前広場北側の植栽帯付近の車道部を通行する歩行者が見られる



雨天時、駅からまちへとつながる動線上に屋根などの雨よけ施設が断続的である



駅前広場内で自転車と歩行者の動線が錯綜している



南側の広場スペースと商店街の間の車道により、駅とまちの賑わいが連続していない



駅前広場南側の広場スペースに段差があり歩行者動線の迂回が生じている



駅前に面する建物は大小様々であり、商業施設などの広告看板が多く、多様な色彩になっている



駅前に30m四方のまとまった広場スペースがある



- | | | | | |
|----|-------------------------|---------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 凡例 | ---> : タクシー動線 | ▨ : バス乗降場・降車場 | ○ (blue) : 多くの人が行き交うスペース | △ (yellow) : 駅およびまちからの景観 |
| | ---> (blue) : バス動線 | ▨ (green) : タクシー乗降場 | ○ (yellow) : 南側広場スペース | ○ (purple) : 南側広場スペースと商店街の接続空間 |
| | ---> (green) : 一般車両動線 | ↔ (red) : 歩行者動線 | | |
| | ↔ (blue) : バス・タクシー利用者動線 | | | |

6) 西口駅前広場 デザインの基本的な視点・考え方

西口駅前広場のデザインの方向性

- 駅と商店街などまちなぎわいが融合し、人々の交流を育む広場
- 駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊性をつくる広場

駅前広場の基本的な役割

西口駅前広場の現況【特性】

西口駅前広場 デザインの基本的な視点・考え方

駅とまちなぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

○にぎわいなど街の魅力を感じる

- ・ 駅と商店街など周辺のにぎわいが連続した歩行者空間
- ・ 駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊の起点として、人が集い交流できる場
- ・ 清潔で快適な歩行者環境

○歩きやすく、利用しやすい

- ・ 人にやさしく、利用しやすい交通施設
- ・ 来街者に分かりやすい表現の案内情報の提供
- ・ 悪天候時にも安全、円滑に移動できる歩行者環境
- ・ 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインへの配慮（子ども連れや身障者、高齢者などへの配慮）

○ゆとりやうるおいを感じる

- ・ 朝夕のピーク時にもスムーズに移動ができる歩行者空間
- ・ 休息や待合せなど、快適に過ごせる歩行者環境
- ・ 植栽などによる四季を感じさせる広場の演出

○環境にやさしい

- ・ 省エネルギーへの配慮
- ・ ヒートアイランド緩和への配慮

○まちの防災力を高める

- ・ 一時避難のためのスペースや設備の確保
- ・ 発災時の災害、交通情報などの提供
- ・ 犯罪の少ない安全安心なまちの実現

悪天候時も歩きやすい駅とまちをつなぐ動線確保

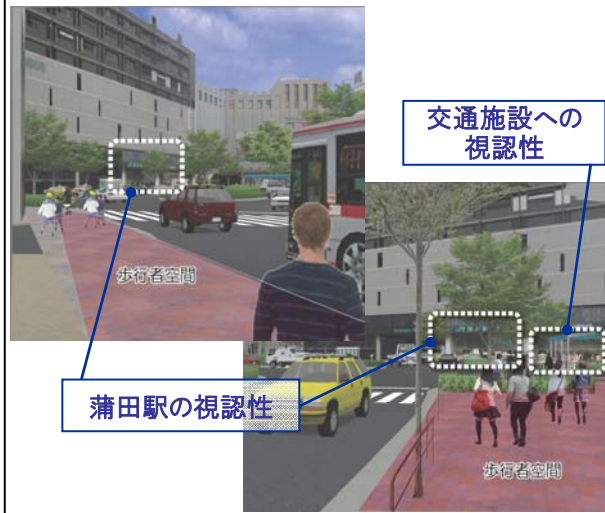
- ・ タクシー乗車場付近を中心にシェルター等の設置による歩行者空間の連続性を確保

歩行者の流れに配慮した西側スペース

- ・ 公共交通（鉄道、バス、タクシー）利用者と駅周辺や商店街を行き交う人々の交錯を考慮した歩行者スペースの確保
- ・ 駅及び商店街などから見通しのきく歩行者空間の確保
- ・ まち案内などの情報発信機能

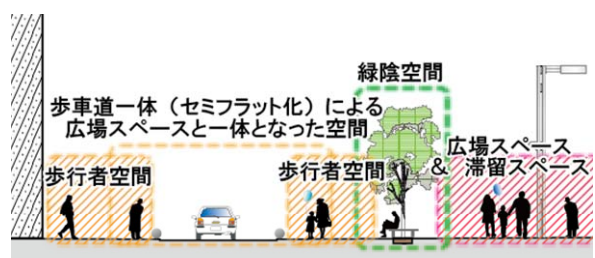
まち側から駅への景観形成の考え方

- ・ 周辺道路から駅施設、交通施設が見通せる街並み



南側広場スペースと商店街との一体感の創出

- ・ 車道の段差解消（セミフラット化）による広場スペースと一体となった空間形成



凡例

- （中央）自由通路
- 駅ビルを通る歩行者ネットワーク
- まちなかの歩行者ネットワーク
- 商店街を通る歩行者ネットワーク
- バス・タクシー利用者動線
- 北側スペース、西側スペース
- 南側広場スペース
- 駅前スペース



歩行者の流れに配慮した北側スペース

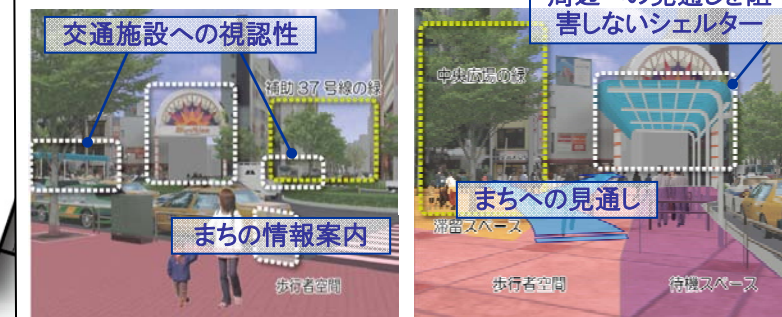
- ・ 公共交通（鉄道、バス、タクシー）への乗換えや大学・専門学校等のまちに流れる動線を考慮した歩行者スペースの確保
- ・ 北側方向からの歩行者交通量を考慮した歩きやすく連続した動線の確保
- ・ バス降車場から駅までの見通しのきく歩行者空間の確保

歩きやすく、利用しやすい歩行者環境づくり

- ・ 公共交通（鉄道、バス、タクシー）利用者と駅周辺を行き交う人々の交錯を考慮したゆとりある歩行者スペースの確保
- ・ 交通情報やまちの案内などの情報発信機能
- ・ 災害時、駅周辺に発生する帰宅困難者などの混乱を避け、安全に誘導を図るための災害情報の発信
- ・ 駅およびまちから見通せて、分かりやすい駅前広場

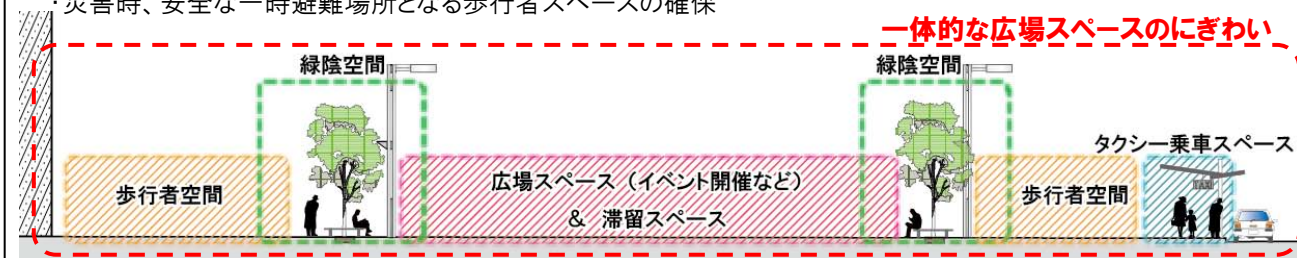
駅側からまちへの景観形成の考え方

- ・ 交通施設や商店街への視認性、補助 37 号線・駅街路 3 号線への見通し



まちの賑わいを感じられる南側広場スペース

- ・ 待ち合わせや交流が生まれる、まとまった広場スペースの確保
- ・ 子ども連れや身障者、高齢者などが歩きやすい広場形状（フラット化）
- ・ 来街者を魅了するまちの顔である広場の景観づくり、一体的なにぎわい空間づくり
- ・ 災害時、安全な一時避難場所となる歩行者スペースの確保



参考) 駅前広場デザインの基本的視点に基づくデザイン例

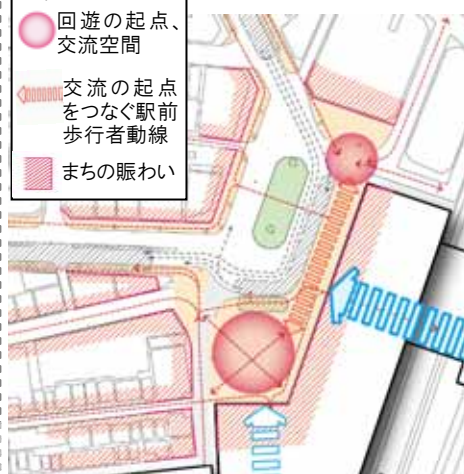
○にぎわいなどまちの魅力

- ・駅と商店街など周辺のにぎわいが連続した歩行者空間
- ・駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊の起点として、人が出会い交流できる場
- ・多世代(高齢者・子育て世代)の来訪者の集いや交流によってにぎわいがうまれる場

広場イメージ



広場活用イメージ

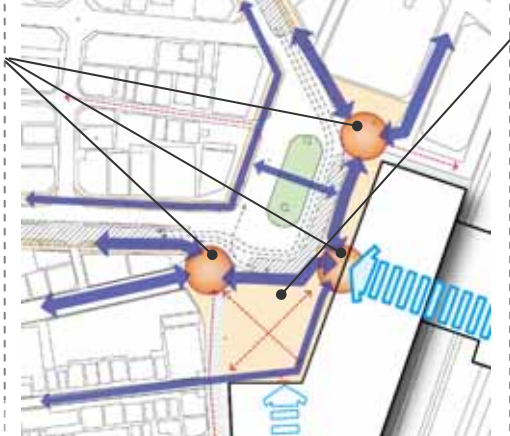
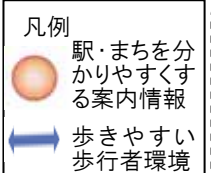


駅前広場活用イメージ



○歩きやすさ、利用しやすさ

- ・利用しやすい交通施設
- ・来街者に分かりやすい表現の案内情報の提供
- ・悪天候時にも安全、円滑に移動できる歩行者環境
- ・誰もが利用しやすいユニバーサルデザインへの配慮



○ゆとり、うるおい

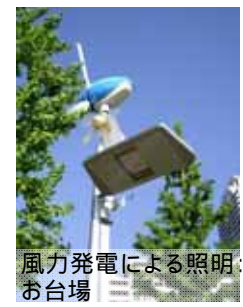
- ・朝夕のピーク時にもスムーズに移動ができる歩行者空間
- ・休息や待合せなど、快適に過ごせる歩行者環境
- ・植栽などによる四季を感じさせる広場の演出、ヒートアイランドの緩和



○環境への配慮

- ・地球温暖化に対する省エネルギーへの配慮
- ・ヒートアイランド緩和への配慮

自然エネルギー活用



ドライミスト事例



○防災などまちづくりとの連携

- ・災害時に備えたスペースや設備の確保
- ・災害や交通状況などの情報提供
- ・災害時に活動できる体制の構築



7) 西口駅前広場の計画・デザイン方針の検討

デザイン・コンセプトの方向性

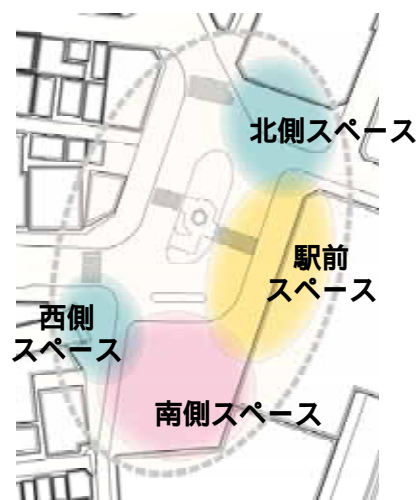
開放感・一体感を重視したデザイン

- ・広場全体を開放感や一体感のあるデザイン



各々のスペースにある特徴や機能を表現したデザイン

- ・待合せやイベント活動など交流が行われる“滞留スペース”や、歩行者が行き交う“流動的なスペース”など、場所毎の特徴や使われ方を表現したデザイン



- 北側スペース: 集散する歩行者が円滑に歩けるスペース
- 駅前スペース: 駅利用者の集散の円滑化、まちの情報提供などを行うスペース
- 南側スペース: 待合せ、休憩、イベント等のまとまった広場スペース
- 西側スペース: 集散する歩行者が円滑に歩けるスペース

歴史性を重視したデザイン

- ・歴史性を感じる模様などの舗装デザイン
- ・レンガ、石や木材などの材質
- ・品があり、高級感のある落ち着いた色彩



先進性を重視したデザイン

- ・先進性を感じる模様などの舗装デザイン
- ・ガラスや金属などの材質
- ・先進性を感じられる明るい色彩



明るさを基調としたデザイン

- ・まちのにぎわいを感じられる明るい舗装デザイン
- ・夜間でも人の表情が分かる明るい照明



落ち着きを基調としたデザイン

- ・レンガ、石、木材等を用いた落ち着きのあるデザイン
- ・温かみのある暖色系の照明



緑の配置の考え方

まとまった緑の配置

- ・高木や低木でまとまった緑空間をつくり、歩行者が安らげる空間をつくる



まとまった緑により留まる仕掛けがある(新宿駅東口駅前広場)

高木・低木の列植

- ・歩行者動線を誘導するなど方向性を示す



歩行者動線に沿って列植している(さいたま新都心駅前広場)

シンボルツリー

- ・駅前広場のシンボルをつくる
- ・待ち合わせ場所をつくる



駅前広場改修の際、住民活動で残った桜がある(仙川駅前広場)

蒲田駅東西駅前広場の関係

- ・開放性、歴史性など基本的なデザインの方向性
- ・舗装の色合い
- ・植栽(樹種)の統一

デザイン・コンセプトの展開イメージ

駅前広場の一体感がある 舗装デザイン

- ・駅前広場に面する歩道の舗装デザインを統一し、一体感を表現
- ・駅周辺の多様な色彩に配慮した落ち着きのある色を採用



有楽町駅 中央口



新潟駅南口

各々のスペースの使われ方を表現 した舗装デザイン

- ・人が集まるスペースや行き交うスペースに合わせて、方向を示すなどした特徴を持った舗装デザイン
- ・出会いや交流などの賑わいを表現しながらも、誘導用ブロックの輝度比に配慮した明るめの暖色を採用



東京駅丸ノ内
・行幸通り



川口駅東口公共広場



札幌駅



まちの顔となる 広場の仕掛けづくり

待合せや人が集まる仕掛けとして、モニュメントを配置しシンボル性を高める



渋谷駅

死角を作らず、常に人の目が行き届く照明デザイン



アイガーデンエア

つくば駅 イルミネーション

緑の配置

歩行者動線を誘導するなど方向性を示す樹木の列植や壁面による立体的な緑化



信濃町駅外構 壁面緑化

棚状の緑

待ち合わせスペースのシンボルツリー

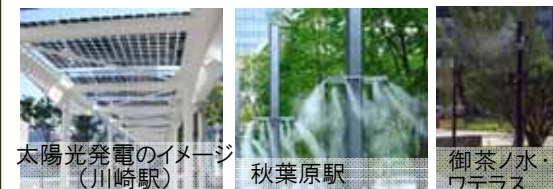


仙川駅前広場のシンボルツリー(桜)

環境、防災、バリアフリーに配慮した歩行者空間

環境配慮

- ・屋外の気温上昇を低減する環境設備(ドライミスト等)の導入
- ・自然エネルギーの活用による省エネルギー・効率化



太陽光発電のイメージ
(川崎駅)

秋葉原駅

御茶ノ水・ワテラス

安全・安心・災害時への備え

- ・一時避難のためのスペースや設備の確保
- ・昼夜問わず、人の目が行き届いた安全・安心な広場の形成

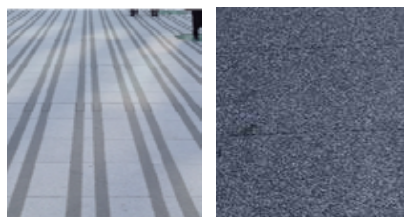


災害時用 トイレ

AED システム

舗装材

- ・歩行の快適性、耐久性、視認性を備えた舗装材の採用
- ・環境に配慮した舗装材の採用



駅とまちをつなぐ歩行者環境づくり

- ・悪天候時にも駅からまちへとスムーズに歩けるシェルターの設置



中野駅北口駅前広場

A-A'断面

